



2014
夏季号

ほっと石川

特集

未来に輝く！
世界にはばたく！
いしかわの産業

ひと工夫でできるエコ活動

「家庭ごみを減らそう！」



地域活性化が国の活力に



地域活性化の取り組みを紹介する谷本知事

北陸の代表として、谷本正憲知事が今年4月に内閣府、6月に首相官邸で、自動車・航空機など川下産業が集積する東海地域と連携し、一大炭素繊維複合材料生産・加工地域（コンポジットエリア）を形成したいという考えなどを発表。地方にある成長の種や技術に光を当てることが地域の活性化だけでなく、国全体の競争力の強化にもつながることを訴えました。

機械・繊維・食品・ITといった基幹産業、集積する高等教育機関などの強みを生かし、県では次世代産業の創造を進めています。中

複合材料の製品化へ
新たな拠点オープン

でも、注目される分野が、「炭素繊維複合材料」です。鉄に比べて強度が10倍重さが4分の1という優れた特性を持つ炭素繊維複合材料の製品化を目指し、今年6月には、金沢工業大学

炭素繊維、航空機などを
次世代産業の柱に

新複合材料研究開発センターが開設しました。センターは産学官が連携する超大型研究開発拠点で、昨年度には文部科学省の「革新的イノベーション創出プログラム」に日本海側で唯一採択されました。今後、センター整備費と合わせ、9年間で約100億円もの国の支援を受ける予定で、製品化に向けた成果が期待されています。



金沢工業大学やつかほキャンパス（白山市八束穂）内にある新複合材料研究開発センター

大幅な需要の増加が見込まれる航空機分野も、有望な産業です。県では、基金の運用益で支援する「次世代産業創造ファンド」などで、航空機分野への参入を後押し。機械加工や熟処理などを手がける中小企業3社が、航空宇宙製品の特殊工程に関する国際認証「Nadcap」を取得するなどの効果が表れています。

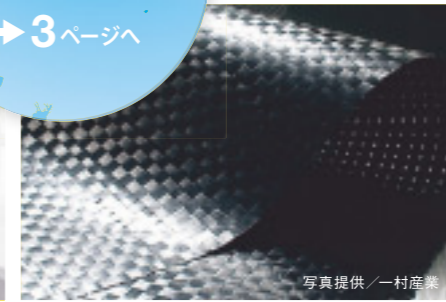
航空機分野への
進出を後押し



数々の最新機器を導入する革新複合材料研究開発センター

強みを生かして
次世代産業創造
→ 3 ページへ

新たな材料として期待される炭素繊維複合材料



写真提供 / 一村産業



海外ビジネスが活発化し、金沢港のコンテナ取扱量は増加しています



東南アジアに進出している企業の建設機械の製造現場

石川の技は
海を越える
グローバル展開が
加速
→ 4 ページへ

未来に輝く！ 世界にはばたく！ いしかわの産業

炭素繊維複合材料の使い方と作り方を追究

炭素繊維は実に世界シェアの7割を、国内の繊維メーカー3社で獲得しています。にもかかわらず、樹脂を結合させた複合材料の製品化は、国内ではあまり進んでいません。その理由は国内に市場がなかったからです。炭素繊維複合材料は、航空・宇宙産業の盛んな欧米で、最新型旅客機や人工衛星などを中心に製品化が活発なのが現状です。

そこで、当センターでは、製品化に特化した研究・開発に取り組みます。製品開発には、何に用いるかという「使い方」と、ロボットを使った生産の自動化などの「作り方」を追究する

必要があります。そこで、複数の企業が当センターに入居するなど、研究者と企業が一体となって、研究・開発のできる環境を整えています。例えば、プロジェクトの一つとして、洋上の風力発電や深海掘削用など、軽くて強い材料が求められる分野での活用を進めています。当センターでの研究・開発を通して、国内に炭素繊維複合材料の新たな市場を創出していきたくと考えています。

革新複合材料研究開発センター所長
金沢工業大学教授 鵜澤 潔 さん



モノづくり技術が集結した「MEX金沢2014」



企業見学会を実施。モノづくり産業の担い手確保に力を入れています

モノづくり
産業を支える
人材の育成・
確保に力
→ 8 ページへ

今年5月に、県産業展示館で開催された機械工業見本市「MEX金沢2014」が過去最多の出展数となるなど、県内では、繊維や機械、電子機器などを中心に、さまざまな分野の産業が盛り上がりを見せています。キラリと輝く技術力や一歩も二歩も業界をリードする先進性で躍進を続ける企業は少なくありません。次世代を見据えた産業基盤の構築や、加速するグローバル化への対応など、県内産業の現状をレポートします。

Contents 目次
2014 夏季号

特集
未来に輝く！世界にはばたく！
いしかわの産業 …… 2

ひと工夫でできるエコ活動
「家庭ごみを減らそう！」…10

道の駅
織姫の里
なかのと（中能登町）……13

知事の窓 ……14

ほほえみ 石川のボランティア
小松能美
メンタルヘルスボランティア
友の会（小松市）……14

ふるさとの歴史・文化を探る
県立能楽堂（金沢市）…… 15

8・9月だけの限定企画
“夜の水族館”に行こう！…16

表紙について

■シリーズ
県産品のある風景

加賀太きゅうり（金沢市・かほく市）

「加賀太きゅうり」は、夏の加賀野菜の代表格です。直径6～7センチ、長さ25センチほどもあり、重さは1キロに達することもあります。厚い果肉はやわらかく、酢の物にしたり、煮たりするなど、いろいろな調理法で楽しめます。一方、加賀太きゅうりのように、大きく育てていきたいのが、「いしかわの産業」です。県では、県内企業の海外進出や人材の育成・確保などを強力にバックアップ。躍進する県内企業の取り組みは、2ページからの特集で詳しく紹介しています。

表紙イラスト制作 / 丸口洋平（金沢市出身）



東南アジアに進出 企業レポート

東南アジアに着目し、現地で事業展開を進めてきたのが、ハチバンと三谷産業です。両社の歩みについて聞きました。



石川発、世界へ 県内企業が躍進

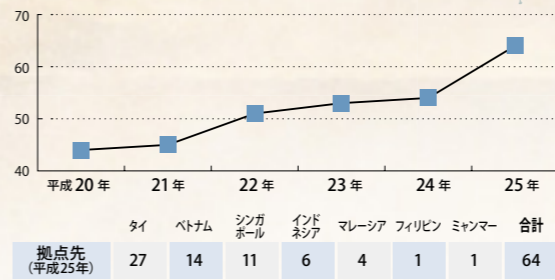
ニッチトップ企業の 海外進出を支援

さまざまな分野で国際化が加速度的に進んでいます。経済産業省が今年3月に発表した特定の国際市場で高いシェアを獲得する「グローバルニッチトップ企業100選」に、県内からは、東京、大阪、愛知の三大都市圏に次ぐ全国4位の6社が選ばれました（各社のインタビュを6ページに掲載）。

海外で得た利益を県内の本社に還元し、地元の雇用や新たな事業展開につなげることは、石川の経済の成長にも結び付きま

東南アジアでの県内企業の海外拠点数

※石川県貿易・海外投資活動 実態調査報告書より



す。そこで県では、今年度から、特定の市場でトップシェアを誇るニッチトップ企業の海外展開を集中支援します。県内に数多いこれら企業をグローバルニッチトップ企業へと押し上げていくため、販路開拓や知的財産権の取得、専門家派遣などに関する経費の一部を補助することとしています。

また、県や県海外事務所、県産業創出支援機構などで支援チームを結成し、ニッチトップ企業の要望に応じ、オーダーメイド型できめ細かく後押しすることで、世界市場でも大きなシェアを獲得するグローバルニッチトップ企業への飛躍につなげていきたいと考えています。

今秋、シンガポールに 県事務所を開設予定

事業のグローバル化を推し進める上で、いま大きな注目を浴びるエリアが、目覚ましい経済成長を続ける東南アジアです。県内企業もタイやベトナムを中心に多くの企業が東南アジアで事業を展開。平成20年実績で27社44拠点だった県内からの進出企業は、25年には42社64拠点へと急増しています。

県では今年秋、県内企業の東南アジアへの関心の高まりを受けて、シンガポールに県事務所を開設する予定です。シンガポールは東南アジアの金融・情報を中心地であり、周辺各国へのアクセスがよく、開設予定の県事務所では、東南アジアで事業を展開する県内企業をサポートしていきます。具体的には、東南アジア各国の法規制や市場の動向といった情報収集・提供、販路開拓のサポートなどに取り組み現地の総合窓口となります。



▲ 東南アジアの中心として成長が続くシンガポール

金沢市

ハチバン

「8番」と言えばラーメンをイメージするのは、北陸の人だけではありません。遠く離れた東南アジアのタイでも外食の定番になっており、ハチバンがフランチャイズ展開するラーメンチェーン「8番らーめん」は現在、首都バンコクを中心に国内全域に107店舗を展開しています。（6/30現在）

「海外事業を軌道に乗せることができた大きな要因は、最初からチェーン化を視野に入れた戦略を描いていたからです」と教えてくれたのは、現地に滞在し、タイ国内のビジネスを指揮する海外運営部長の清治さん



▲ 人口6600万人のタイ国内で、年間1300万人の方が来店

海を越えた北陸の味。 タイで107店舗を展開

タイでの事業は同社の大きな柱であり、経済成長を続ける東南アジアで、今後も北陸発のナンバーワン・ラーメンチェーンとして、積極的なビジネス展開を進めていく計画です。



執行役員 海外運営部長 清治 洋さん

ん。食材の加工・調理を一括して行い、品質の均一化やコストの削減につながるセントラルキッチンを平成4年の1号店出店時に構えるなど、初めから多店舗展開を考えていました。

加えて、出店を熱心と呼びかけてくれた信頼できる現地のビジネスパートナーとの出会いも海外事業を成功に導いたカギのひとつです。「現在は、ラーメン店のチェーン化だけでなく、合弁会社をつくり、スープ・エキスの製造・販売事業も手がけています」と清治さん

金沢市

三谷産業

金沢市の三谷産業では今年5月、ベトナム進出20周年を迎え、現地には化学品や樹脂成形品の製造、ソフトウェアの開発などを担う7社を構えています。同社がベトナムに商機を見出した背景には、平均年齢が若く豊富な労働力、勤勉な国民性に加え、ベトナムの人たちの目の輝きがありました。三谷充会長が社長時にベトナムを訪れた際、現地の人たちから高度成長期の日本人に似た意欲を感じ取りました。

ただ、当時は全国でもベトナムを視野に入れる企業



▲ 樹脂成形品の製造や組み立てを行うABCD社ハイゼン工場

進出から20年。現地に7社を設立し “ベトナム発日本品質”を実現

はほとんどなく、進出は手探り状態からのスタートでした。「少しでも情報を得るため、ベトナムに暮らす日本人が多く利用する現地の日本食レストランに通うなど、徐々に足場を固めていきました」と、話すのは同社の海外進出の先陣を切った現常勤監査役の村田さんです。

村田さんが基盤を築いたベトナム事業は曲折がありながらも成長を続け、現在は1400人近いベトナムの方が三谷グループの一員として活躍。「労働力と育んだ技術力を生かし、スピーディーに優れた商品を提供する環境が整っています」と村田さんは笑顔を見せ、同社では今後も、「ベトナム発日本品質」でさらなる成長を目指しています。



常勤監査役 村田 淳さん

BBS金明 (白山市)

半導体素材を研磨 世界シェアは85%

携帯電話や家電など、生活に密着した電気製品の「頭脳」となる半導体。その製造には、BBS金明の技術が深くかかわっています。同社では、半導体の基板となる1ミリ前後に薄くスライスされた「シリコンウエハー」を研磨する専用装置を開発し、中国や韓国、台湾などの半導体メーカーに向けて出荷しています。世界シェア85%にも達する同社の強みはもちろん、品質面にあります。均一に、スピーディーに磨き上げていく技術は業界トップを走っています。ただ、海



副社長 川原 龍之介さん (かわはらりゅうのすけ)

外を相手にする際、品質は劣っても安価な製品で勝負をかけてくる企業も少なくありません。「当社では行き過ぎた価格競争に参加しませんでした」と副社長の川原さん。その影響で、一時は他社に乗り換えた顧客もいたものの、品質に納得できず、再び同社の装置の導入が進みました。一方で、同社では2の矢、3の矢の準備にも余念がありません。太陽光パネル加工装置や次世代型5軸加工機などを開発し、新たな市場開拓に積極的に乗り出しています。



半導体関連装置

天池合織 (七尾市)

世界一薄くて軽い織物 “天女の羽衣”で躍進



天女の羽衣

天池合織のファッション織物「天女の羽衣」は、太さ5〜7デニール(約40分の1ミリ)の極めて細い糸を使い、1㎡の重さはたったの5g。世界一薄くて軽く、そよ風に舞い、水面のような光沢を放つのが特徴です。現在はヨーロッパの高級ブランドを中心に出荷し、パリコレクションやミラノコレクションで発表される最先端のファッションに用いられるなど、大きな注目を集めています。ただ、天女の羽衣はもともファッション向けではなく、プラズマテレビ用

の産業資材として開発されたものでした。しかし、プラズマテレビの普及は進まず、生産量も激減。窮地を乗り切るためにファッション業界に活路を求めました。海外にネットワークはなかったものの、イタリアやフランスでの展示会に積極的に出展。「実際に手に触れてもらうことで良さが伝わりました。ヨーロッパでは、企業規模や知名度ではなく、純粋に質で勝負できる土壌があります」。社長の天池さんはこう話し、一層のシェア拡大に知恵を絞っています。



社長 天池 源受さん (あまいけ もとつぐ)

明石合銅 (白山市)

独自技術生かした開発力で 建機の心臓部を製造

明石合銅が世界的にも高いシェアを獲得するのは、建設機械「油圧パワーシヨベル」に使われるシリンドラーロックの製造です。シリンドラーロックは、高圧の油を発生させる油圧ポンプの心臓部品として使われます。この油圧ポンプから送り出される高圧の油が油圧パワーシヨベルの全ての動力源となります。同社が手がける製品の特徴は、鋼の本体に、ピストンが高速で上下する穴の内側と、シリンドラーロックが高速回転して他部品と接する面に、銅合金を接合さ



せている点です。この独自の技術により、鉄系材料の強度に、銅合金が持つ摩擦や摩耗に強い特性をプラスすることができます。同社独自の技術で生み出された複合材料はAGバイメタルと名付けられ、ヨーロッパやアメリカなどの建機・油圧機器メーカーにも出荷。「海外事業は売り上げの20%を占める核となっていますが、さらに10%引き上げたいと考えています」。社長の明石さんはこう意気込み、スイス、アメリカに営業スタッフを常駐させ、海外戦略を本格化しています。



社長 明石 寛治さん (あかし かんじ)

東振精機 (能美市)

品質、価格、納期を追求し 軸受け部品製造のトップに



「産業の米」と言われ、さまざまな機械に欠かせない要素がベアリング(軸受け)です。これは、回転運動を行う軸などを支える機構で、主に自動車や工作機械に組み込まれており、摩擦によるエネルギーの損失や発熱を減らす役割もあります。東振精機はそのベアリングに組み込むローラーの専門メーカーです。中でも、産業機械などに組み込むタール型をしたローラーの「球面ころ」に関して、国内シェアが7割を超え、世界でも2割近い市場を獲得しています。ただ、創業から58年、同社の

歩みには紆余曲折がありました。なぜなら、顧客となるベアリングメーカーはローラーを内製するのが一般的で、自社製品を押しつけてまで採用されるのは容易ではありません。「品質、価格、納期のすべてに磨きをかける必要があります」と、社長の中村さんはこう話し、研磨用の機械などを自社内で開発するなど、数々の試行錯誤を繰り返し、徐々に現在の地位を確立。昨年には中国に製造会社を設立しており、今後は海外展開も視野に一層の挑戦を続けていく考えです。



社長 中村 敬さん (なかむら たかし)

津田駒工業 (金沢市)

技術力とサービス力で 躍進続ける100年企業



最新型ジェットルーム

津田駒工業は、空気や水の力を利用したジェットルーム(高速自動織機)を主力とする繊維機械の国内トップメーカーです。明治42(1909)年創業と100年以上の歴史を刻む同社では、大正13(1924)年にシャトル織機を初めて輸出し、70年代後半から海外戦略を本格化。現在は中国やインドを中心に販売網は60カ国に広がり、ジェットルームの世界シェアは3割を誇ります。躍進をけん引するのは、高いコア技術と顧客重視のサービス力です。織維機械への展開につながりました。世界の異なる文化や商習慣の中で、技術と人がうまく適応する柔軟さもブランドへの信頼を高めました。「海外市場は大きく、変化も速いが、情報化の発達でいろいろな国の市場の変化を取り込むことが可能になりました」と話すのは、海外事業の最前線に立つ繊維機械販売部の林さん。グローバルな視点で取り組むことで、事業の



繊維機械販売部 林 隆峰さん (はやし たかね)

す。それが世界市場の拡大と、また新たに取組んでいる炭素

小松精練 (能美市)

先端行く生地 国際グランプリに輝く



常務 中山 大輔さん (なかやま だいすけ)

パリで年に2度、開かれる世界一のテキスタイル見本市「ブルミエール・ビジョン」で昨年9月、小松精練が出品した新素材「ムニユ」が、日本企業初のグランプリを受賞しました。発泡ウレタン樹脂に極薄のナイロンを貼り付け、名前の通りの柔らかな手触りを実現した新素材が、各国のバイヤーから大絶賛されたのです。ほかにも、同社では染色技術でソフトな繊維素材にハリとコシを与えた「コンブ」、布地に高精細にプリントした「モナリザ」など、独自の生地であるほ



同社ショールーム

グローバル企業に探る 海外進出成功のカギ

経済産業省が発表した“グローバルニッチトップ企業”は、日本代表として日々、世界を相手に奮闘しています。そこで、県内から選ばれた6社取材。それぞれの企業の技術力や事業戦略には、海外ビジネスを軌道に乗せるためのヒントがたくさんありました。

これからの10年見据えた「石川県産業成長戦略」を策定

県では今年5月、「石川県産業成長戦略」を策定しました。成長戦略は、大きく変化する県内産業を取り巻く現状を踏まえ、これからの10年間を見据えた指針となるものです。製造業や高等教育機関の集積、陸・海・空で進む交流基盤の充実といった石川の強みを生かし、次代の産業の創造や人材の育成・確保などにつなげるための柱を定めています。



産学官が連携した検討委員会を設置し、戦略をまとめた様子。



新製品開発による新規需要の創出

人口減少により縮小が見込まれる国内市場では、新製品開発により、新規需要を創出します。

具体的な取り組み 活性化ファンドや次世代ファンドによる製品開発支援、懇談会や商談会の開催による販路拡大の促進、基幹4業種の新分野展開の支援、ベンチャーコンテスト開催による創業の促進など



国際展開の拡大

成長著しいアジアなどの新興国市場では、積極的に展開し、需要の獲得を図ります。

具体的な取り組み 相談体制の強化、海外市場の調査や輸出に取り組む企業への支援、展示会等への出展支援、シンガポール事務所の設置による海外ネットワークの拡大



次世代産業の創出

炭素繊維複合材料などの成長市場では、国と連携して取り組みを深化させ、新たな産業の創出に取り組みます。

具体的な取り組み 次世代ファンドによる研究開発支援、研究者の育成・確保の支援、国事業等を活用した革新的な研究開発の促進、工業試験場の機能強化



戦略的な企業誘致の推進

交通インフラの充実、自然災害の少なさ、安価な電力といった石川県の立地環境を生かし、戦略的に企業を誘致します。

具体的な取り組み 里山里海などの地域特性を考慮したきめ細かい誘致活動の展開、助成制度の見直しなど



産業人材の総合的な育成・確保

生産年齢人口の減少が見込まれる中、企業の成長を支える人材の育成・確保を積極的に支援します。

具体的な取り組み 中核人材の確保支援、短期海外研修の支援、次代の経営者育成、女性や企業OBによる新規採用を支援



▲人材が県内のモノづくり産業を支えています

産業を支え、成長に導く原動力は「人材」です。県では、県内企業の成長を後押ししていくために必要な人材の育成・確保を支援しています。その一つとして力を入れるのが、新製品や新技術の開発、国内外の販路開拓などの成果を挙げる中核人材の確保に対するサポートです。現在は全国的に売り手市場が広がり、人材の獲得競争は激しさを増しています。そんな中にあっても優秀な人材を獲得できるよう、県では、県内産業を支える基幹4業種（機械・繊維・食品・IT）の中小企業を対象に、採用から1年間の人件費80%（最大600万円）を補助する取り組みを始めました。加えて、グローバル化が進む中、次代

また、生産年齢人口が減少する中、あらゆる人材が持つ力を発揮できる環境を整えることも重要です。そこで注目したいのが、これまで生かし切れていなかった最大の潜在力とされる「女性の力」です。そこで、県では今年度、「女性モノづくり提案力育成塾」を開講します。塾では県内のモノづくり企業に勤務する

モノづくりの現場に女性の視点や感性を

の海外事業を担う人材を育成するため、若手社員を対象とした海外実地研修の助成制度を創設しました。海外勤務に関するセミナーや実地に広くフィードバックするセミナーも開催します。

世界に広がる石川の製造業に魅力

入社して3年、顧客の要望に応じたさまざまなタイプの工作機械の組み立てを担っています。日々、モノづくりに携わる中で感じる魅力は、自分が組んだ機械が問題なく動いた瞬間です。特に、初めて手がけた機械にスイッチを入れたときのドキドキ感は今でも忘れられません。

また、当社のお客様は国内だけではなく、海外にも数多くいらっしゃいます。私の組み立てた機械が、海を越えてさまざまな製造現場で活躍していると思うと、世界中の知らない人ともつながりを感じることができ、そこに仕事に対するやりが

いも芽生えています。私たちの課では機械を設置するために現場に足を運ぶことも多く、先輩は国内外へと出張に出かけています。私はまだ出張の経験がありません。一人でもお客様に対応できるよう、技術と知識を磨くのが今の目標です。石川のモノづくりを世界に運ぶエンジニアを目指し、もっともっと頑張ります。

高松機械工業（白山市）
組立四課 木谷 美祐さん
きたに みゆ



成長の原動力「人材」の育成・確保に全力を注ぐ

企業のけん引役 確保を支援

産業を支え、成長に導く原動力は「人材」です。県では、県内企業の成長を後押ししていくために必要な人材の育成・確保を支援しています。

成・確保を支援しています。その一つとして力を入れるのが、新製品や新技術の開発、国内外の販路開拓などの成果を挙げる中核人材の確保に対するサポートです。現在は全国的に売り手市場が広がり、人材の獲得競争は激しさを増しています。そんな中にあっても優秀な人材を獲得できるよう、県では、県内産業を支える基幹4業種（機械・繊維・食品・IT）の中小企業を対象に、採用から1年間の人件費80%（最大600万円）を補助する取り組みを始めました。加えて、グローバル化が進む中、次代

女性社員を対象に、先進事例を学びながら現場の実情と課題を洗い出し、具体的なターゲットを設定して新製品開発に向けたノウハウを育成。女性の視点や感性を、製品開発につなげていきます。このほか、豊富な技術やノウハウを持つ企業OBにも着目。人材バンクを構築し、求人企業とのマッチングやOB人材の活用推進に向けたセミナーを行います。



▲モノづくりの現場では女性の活躍が求められています

RECYCLE
リサイクル

古新聞、空き缶、ペットボトル などはリサイクルに出す



古新聞、空き缶、ペットボトルなどは、資源として再生利用できます。きちんと分別してリサイクルしましょう。

RECYCLE
リサイクル

コンポストで たい肥を作る

ダンボールに腐葉土と米ぬかを入れたコンポストに生ごみを入れてかき混ぜておくと、約3カ月でたい肥になります。家庭菜園などに活用しましょう。



ひと工夫でできるエコ活動 「家庭ごみを減らそう!」

REDUCE
リデュース
REUSE
リユース
RECYCLE
リサイクル

ごみは最も身近な環境問題です。ごみを減らすためには、日々の生活の中でごみを出さない工夫をし、ごみになるもの自体を減らしていくことが最も重要です。また、ものを繰り返し使うことも大切です。リデュース（ごみを出さない）、リユース（繰り返し使う）、リサイクル（ごみの再生利用）の3Rに心がけ、まずはできるところから始めてみませんか。



REUSE
リユース

リサイクルショップや フリーマーケットを利用する

不要になった衣服や本があれば、リサイクルショップやフリーマーケットを利用してみませんか。繰り返し使えば、ごみの削減になります。



エコライフを始めよう!!

取り組み
2

いしかわ クールシェア

夏場、家庭の電気使用量の半分以上を占めるのが、エアコンです。県では、家のエアコンを消して図書館や飲食店などの涼しい場所に出かける「いしかわクールシェア」を実施しています。公共施設や一部の商業施設のクールシェアスポットでは、



シェアマップでクールシェアスポットを探してスポットへGO!!

※熱中症に気をつけて、無理せず気軽にご参加ください。

シェアマップ 検索
sharemap.jp/

取り組み
1

省エネ・節電 アクションプラン

県では、家族で楽しみながらエコ活動に取り組めるよう、「省エネ・節電アクションプラン」を推進しています。プランは、今日から始められるさまざまなエコ活動を実践し、県に報告してもらう取り組みです。活動を通して環境意識を高めてもらうことが目的で、環境にやさしい暮らしを実践する「いしかわ家庭版環境ISO」のエコファミリーは着実に増えています。

加えて、今年度からは、小さなお子さんがいるご家庭を対象に、いしかわエコレンジャー認定制度を試験的に開始。子どもと一緒に楽しめる取り組みを充実させています。



省エネ・節電アクションプランにぜひ参加し、エコファミリーにお申し込みください。詳しくは下記のアドレスから。

いしかわ省エネ節電 検索
www.pref.ishikawa.lg.jp/ontai/pp/ss_actionplan.html

REDUCE
リデュース

シャンプーなどは 詰め替え商品を選ぶ

シャンプーや洗剤などは詰め替え商品を選びましょう。容器入りのものよりもごみの量を減らせます。しかも、詰め替え商品は価格的にもお買い得な場合がほとんどです。



REDUCE
リデュース

生ごみは 水切りをしてから 捨てる

生ごみの約7~8割は水分です。ビニール手袋を着用し、ぎゅっと水切りするだけで生ごみの重さを大きく減らせます。志賀町では、この水切りの取り組みで、可燃ごみの削減に成功しました。



REDUCE
リデュース



調理方法を工夫して、調理くずなどごみを減らす (エコクッキングの実践)

家庭ごみの約4割は食料品とされています。食材をムダなく使い切る、家族の人数やライフスタイルに合わせて計画的に食料品を購入することで、捨てる量を減らすことができます。

INTERVIEW インタビュー

エコクッキングはおいしく、楽しく

エコクッキングと聞くと、野菜などの捨てる場所を使った質素な料理をイメージするかもしれませんが、決してそんなことはありません。例えば、大根の葉をゆでてタマゴとタラコを入れて炒めたり、ニンジンの皮をあえて厚めに切ってきんぴらにしたりするなど、工夫次第で、おいしく食べられる方法はたくさんあります。調味料をきちんと計量することも重要で、使い過ぎを抑えられるとともに、味付けも失敗しません。

また、家族みんなで食卓を囲むことも大事なエコクッキングです。ばらばらで食事をする、後に食べる人のことを考えて、料理を作り過ぎたり、多めに取り分けてしまったりすることが多く、それが結局、食べ残しが増える原因になります。なるべく家族が顔をそろえ、みんなで味わいましょう。そして、その際に、料理をした人はぜひ、エコクッキングをしたことを、家族に自慢してください。ごみの減量などの環境問題について話し合うきっかけになります。



北陸学院大学短期大学部
食物栄養学科教授
新澤 祥恵さん
にいざわ よしえ

今年4月誕生 旬の幸いろいろ

野菜に総菜、ご当地グルメ、館内には町の魅力がぎゅっ!

道の駅
織姫の里
なかのと
(中能登町)



ほかにも旬の野菜がいっぱいですよ!

オススメ 人気商品を紹介します



おにぎり110円〜、中島菜と地元の牛乳を使ったミックソフト300円

道の駅 織姫の里なかのと 駅長 田中 雅晴さん

コミュニティバスの発着点となっているほか、町の防災拠点としての役割も担っています

DATA



織姫の里なかのと

中能登町井田ぬ部10番地1
TEL 0767 (76) 8000
ホームページ orihime-nakanoto.jp
産直館 織姫市場
⑨ 9:00~19:00 (4~9月)、9:00~18:00 (10~3月)
⑩ 1~3月の水曜日 (年始を除く)
フードコート織姫ダイニング
⑨ 10:00~21:00
⑩ 無休
ドッグラン
⑨ 9:00~18:00
⑩ 1~3月の水曜日 (年始を除く)



中能登町の中心を走る国道159号沿いに今年4月、県内で最も新しい道の駅「織姫の里なかのと」が誕生しました。館内には地元を中心に能登の特産品が充実。朝に収穫した農家直売の野菜をはじめ、リピーター続出のウインナーやベーコン、中能登産豚肉と能登野菜の金糸瓜を使ったレトルトカレーなど、どれもこれも駅が自信を持っておすすめする商品ばかりです。館内で調理する総菜やお弁当、旬の幸満載のフードコートなど、ここでしか味わえないグルメも少なくありません。もちろん、高級麻織物の能登上布など、町の観光情報も豊富。地元野菜を使った料理教室を予定するなど、中能登町の新たな魅力発信拠点となっています。

2 愛犬家にうれしいドッグラン



織姫の里はワンちゃんも大歓迎。駅の敷地内には芝生のドッグランも整備しています。ドッグランは大型犬と小型犬用でそれぞれ分かれているので、安心して遊ばせられますよ。

1 トイレにも中能登らしい工夫



トイレは一面ガラス張りとなった開放的な空間。外に見える壁面には能登上布のかすり模様をあしらっています。女性用にはパウダールームもあり、利用者から喜ばれています。

織姫の里はここも魅力!

地域ぐるみで ごみの減量作戦にトライ!

県内には、家庭ごみの減量に住民が一丸となって取り組んでいるところがたくさんあります。地域ぐるみでごみの課題解決に力を注ぐ団体取材しました。

ひとしぼり運動を展開、年間で1割の可燃ごみを削減

志賀町女性団体協議会では、町と連携して生ごみの水切りを呼びかけています。「きっかけは、平成24年秋に町から寄せられた志賀町の家ごみ周辺市町よりも多いという相談でした」と振り返るのは会長の村山康子さん。

当時の会長の宮本しげ子さんが、この相談を受け、主婦として何かできないか考え、12月に町内全世帯にごみの出し方などに関するアンケート調査を実施しました。その結果をもとに、すぐに始められる生ごみの水切りを

推進していくことを決めたのです。同協議会では各地区を回り、生ごみを出す前に水切りをする「ひとしぼり運動」をはじめ、分別の徹底やリサイクルショップの活用を呼びかける説明会を開催しました。さらに、住民のごみ減量に関する意識の高まりにつなげるため、町が毎月、発行する広報紙に家庭からの可燃ごみの総量を掲載。前年度との比較を行ったところ、可燃ごみの重量を年間で約1割も減らすことができました。

「今後はお年寄りの方など、きめ細かな啓発に取り組みたいですね」と村山さん。ごみ減量を通して、一人暮らしの高齢者に声かけをするなど、地域のコミュニケーションの活性化にもつながりたいと考えています。



毎月発行の町広報紙に結果を掲載

志賀町女性団体協議会 会長 村山 康子さん

志賀町 女性団体協議会



地域独自のポイント制度で家庭ごみの分別を徹底

「可燃ごみとして捨てていた野菜くずなどの生ごみを回収すればたい肥にでき、ごみの減量にもつながる」。そう考え、ごみの分別徹底で大きな成果を挙げたのが、加賀市の山代温泉まちづくり推進協議会です。平成18年から山代地区の住民に呼びかけ、毎週火曜の朝、地区内の定められた場所で生ごみを回収する取り組みを始めました。集めた生ごみは、たい肥化され、それを使って地元農家が野菜を栽培。これらの野菜は市内のスーパーや直売所を通して地産地消し、生ごみを再びたい肥にする循環システムを築いています。

い物スタンプにもなります。「住民の皆さんに回収は定着し、たくさんポイントを貯めていますよ」と笑顔で教えてくれたのは、同協議会生ごみ堆肥化推進委員会代表の橋本真琴さん。山代地区で始まった取り組みは現在、加賀市全域に広がり、市内全域の可燃ごみの排出量はピーク時から3割以上も削減したそうです。



たい肥に活用する生ごみの回収風景

ポイントカード

山代温泉まちづくり推進協議会 生ごみ堆肥化推進委員会 代表 橋本 真琴さん

山代温泉 まちづくり推進協議会



ふるさとの 歴史・文化を探る

県立能楽堂 (金沢市)

週土曜には、恒例の「観能の夕べ」を実施します。県内はもちろん、全国各地で活躍する能楽師や狂言師の舞台を、1公演1000円(8/30の特別公演は3000円、いずれも高校生以下は無料)でご覧いただけます。専門家による解説もあるのです、初めて鑑賞される方でも十分に楽しめます。

多彩な伝統芸能が花開く石川県。その象徴の一つが、石川の能楽の拠点である「県立能楽堂」です。昭和47(1972)年の開館から42年、さまざまな演目を上演してきた能楽堂は、西本願寺(京都市)にある国宝の北舞台を模して造られた総檜造りで、昭和7(1932)年に金沢市広坂に建てられたものを県が譲り受けて移築しました。82年の歴史を刻んだ今、落ち着いた色つやが能楽の殿堂としての風格を漂わせています。また、床下には、かめが11個埋められ、拍子を踏む際の音響効果を高めています。

能楽堂では毎月(8月を除く)第1日曜、金沢能楽会の定例会を開催。明治34(1901)年から100年以上にわたって続く定例会は通算1100回以上を数え、連綿と受け継がれてきた石川の能楽の魅力を存分に感じられる舞台です。さらに、7月・8月の毎週土曜には、恒例の「観能の夕べ」を実施します。県内はもちろん、全国各地で活躍する能楽師や狂言師の舞台を、1公演1000円(8/30の特別公演は3000円、いずれも高校生以下は無料)でご覧いただけます。専門家による解説もあるのです、初めて鑑賞される方でも十分に楽しめます。

82年の歴史を刻む能舞台 毎月定例会を開催

衣装なども展示



写真提供/公益社団法人金沢能楽会



▲ 県立能楽堂では一般の方を対象に能楽体験を実施しています

交通アクセス



金沢市石引4-18-3
TEL076 (264) 2598

- 開館時間/午前9:00~午後10:00
(見学は午後5:00まで。午後4:30までに入館してください)
- 休館日/月曜、祝日(文化の日を除く)
年末年始(12/29~1/3)

※定例会、観能の夕べの詳細は
(公社)金沢能楽会・県立能楽堂のホームページをご覧ください

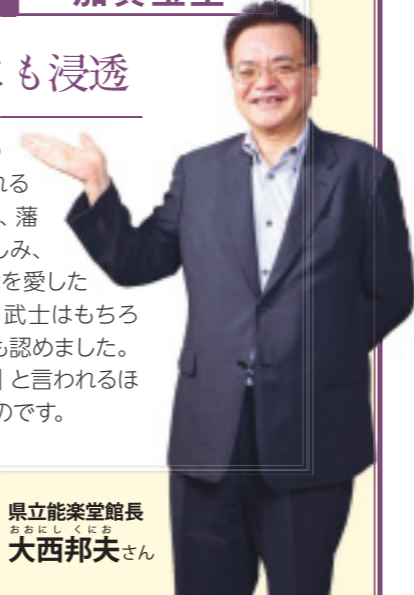
- www.kanazawanohgakukai.jp (金沢能楽会ホームページ)
- www.pref.ishikawa.lg.jp/nougakudo/nougakudoutop.html (県立能楽堂ホームページ)

“ふるさと”お宝キーワード 加賀宝生

加賀藩主が奨励し町民にも浸透

石川県は、能楽の中でも特に宝生流という流派が盛んな土地で、「加賀宝生」とも呼ばれるほどです。その基盤が築かれたのは藩政期で、藩祖の前田利家以来、歴代の加賀藩主は能に親しみ、手厚く保護してきました。中でも、こよなく能を愛したのが、5代藩主・綱紀です。宝生流に傾倒し、武士はもちろん、他藩では考えられなかった町民への普及も認めました。そのおかげで、金沢は「空から謡が降ってくる」と言われるほど、人々の暮らしにも能が深く浸透していったのです。

県立能楽堂館長
おおいしににお
大西邦夫さん



地方から世界へ! 石川の企業に注目

有効求人倍率の改善など、長らく低迷の続いた景気にもようやく光が見えています。現在「就活中」の若者や保護者の皆さんも、地方から世界へ羽ばたく石川の中小企業の将来性にぜひ目を向けてください。

そもそも、現在、世界的な日本の大企業も、その多くは町工場からスタートしています。それに、組織の小さな中小企業のほうが、一人ひとりの能力が発揮しやすく活躍の場が広がります。働く社員も「この分野なら絶対に誰にも負けない」という強みを持って、グローバル化の荒波に立ち向かってほしいと思います。

われわれも県内で頑張る中小企業の魅力や強みをさらに発信するとともに、新たなグローバルニッチトップの育成へ、先人から培われた良き伝統に磨きをかけていく考えです。

産業のグローバル化が加速しています。ひと昔前なら、大企業でないと世界を相手に戦うことは困難でしたが、いまは他の追随を許さない技術やサービスを持つていけば、たとえ小さな企業であっても世界に打って出ることが出来る時代です。

経済産業省が今年、国際市場の開拓に取り組む国内企業の中から、特定分野で高いシェアを誇る「グローバルニッチトップ企業100選」を発表しました。石川県からは6社が選ばれ、その数は東京、大阪、愛知の三大都市圏に次いで全国第4位。この背景には、かつて学術や工芸、文化の振興に特に力を入れた加賀藩が、各界の第一人者を江戸や京都から招いて指導を仰ぎ、精緻な技術と人材を育ててきた歴史があります。このことから、常に研鑽と創意工夫を積み重ねるモノづくりの風土が生まれ、これが本県産業に脈々と受け継がれているのです。



研修や他のボランティアグループとの交流にも積極的



メンタルヘルスボランティアの養成講座の修了生を中心に活動しています

● 問い合わせ
小松能美メンタルヘルスボランティア
友の会事務局(なごみの郷内)
代表 浅井 俊子 TEL 0761(23)7232

smile 石川のボランティア

ほほえみ

小松能美
メンタルヘルス
ボランティア
友の会
(小松市)

利用者と同じ目線で
ふれあい活動
心のつながりがやりに

調理実習などをしたり、精神に障がいのある方の就労・生活支援に取り組む「なごみの郷」の利用者と交流したりするなど、定期的な活動を続けてきました。

ほかに、なごみの郷で、毎月第3土曜に「ほっとサロン」を開いて、利用者や語り合ったり、施設のお祭りの開催に取り組んだりするなど、活動は多岐にわたります。「専門家ではないからこそ、利用者と同じ目線で付き合うことができ、皆さんもいろいろな話をしてくれそうですよ」。浅井さんは笑顔でこう話し、ふれあいで生まれる心のつながりが、ボランティアのやりがいになっています。

1
見どころ

夜のイルカショー
照明がついたプールでダイナミックな演技を披露
19:00～、20:30～の2回開催



8・9月だけの限定企画 “夜の水族館” に行こう!

たくさんの海の生きものたちとふれあえる「のとじま水族館」では、この夏の特別イベントとして「夜の水族館」を実施します。開催日は8・9月の土曜日限定。何度も水族館に足を運んだ方でも楽しめる企画が盛りだくさんです。

開催日 8月 2日(土)、9日(土)、23日(土)、30日(土)
9月 13日(土)、20日(土)

時間 午後6:00～9:00
(入館は午後8:30まで)
料金 大人1200円(高校生以上)
小人300円(3歳以上中学生以下)

2
見どころ

マイワシのビッグウェーブ
マイワシの群れの動きを音楽と光で素敵に演出
18:30～、20:00～の2回開催

4
見どころ

トンネル水槽ライトアップ
「イルカたちの楽園」を青色にライトアップし、イルカの優雅な姿が見られます

3
見どころ

水中おばけ屋敷
ダイオウグソクムシなど容姿が奇怪な生物を展示



●問い合わせ
のとじま水族館
七尾市能登島曲町15部40
TEL 0767(84)1271

「温泉旅行」へは半年に1回は行く。
「温泉」へは週に10回は行く。

北陸唯一※1の「天然温泉」掛け流しの大浴場と露天風呂。※2

キッチンに立つ時間が減った。
2人で居る時間が増えた。

北陸唯一※1。朝食晩、メニューを選べるお食事をご予約不要で毎日ご用意。※3

▲お食事一例(一般棟)

「いざという時」の安心があるから、「いま」を楽しめる。

北陸唯一※1、24時間体制での終身介護を実施。※4

人生を、満開に。

リオリティ・シニアマンション
スプリングライフ金沢
三谷商事グループの介護付有料老人ホーム

ゆとりの「一般居室」と安心の「介護居室」 | 北陸唯一※1の24時間介護・看護体制。※4

終身介護をお約束。※5 | 経験豊富なスタッフ&充実した共用施設。

資料請求・ご見学・体験入居のお問い合わせは
0120-132-871

スプリングライフ金沢 | 検索 | パンフレットをお送りします▶

事業主体/スプリングライフ金沢 株式会社
※当社は三谷商事(株)の100%出資による会社です。

石川県金沢市栗崎町4丁目80番地2
Tel.076-238-8000 Fax.076-237-2323 http://springlife.jp/
(社)全国有料老人ホーム協会 正会員 石川県指定介護保険特定施設(一般型特定施設)
石川県指定第1770100012

※1 介護ビジョン編集部による地域別調査レポート(H22年6月)に基づく。北陸とは石川県・富山県・福井県の3県を指します。※2 天然温泉:[泉質]ナトリウム、カルシウム塩化物塩泉[効能]神経痛、関節痛、冷え性、慢性婦人病等 当ホームの天然温泉は、泉温が高いので井戸水を加水しています。※3 写真は実際のお料理の一例です。※4 夜間時(17:30～翌8:30)は看護職員1名・介護職員2名(最少人員各1名ずつ)の配置となります。※5 入居者の行動が、他の入居者又は、従業員の生命に危害を及ぼし、又は、その危害の切迫した恐れがあり、かつホームにおける通常の介護方法及び接遇ではこれを防止することができないときは、契約解除となる場合がございます。

前略 石川県知事

県政に対するご意見・ご提言をお寄せください

住所・郵便番号・氏名・年齢・職業をご記入の上、郵便またはファクスでお送りください。

〒920-8580 (住所の記入不要)
石川県広報広聴室「前略 石川県知事」あて
TEL 076 (225) 1362 FAX 076 (225) 1363

ふるさと納税

「ふるさと石川」の魅力アップに活用します。県外在住のご協力者を紹介してください。

●問い合わせ
石川県県民交流課 TEL 076 (225) 1361
www.pref.shikawa.lg.jp/kenmin/furusatonouzei/